

“鉄より堅く逞しき”

生徒指導通信 第34号
令和4年1月31日発行
黒沢尻工業高等学校

○『凡事徹底』

先日、全国高校サッカー選手権大会で初の決勝戦進出を果たしたのが、熊本県代表の^{おおつ}大津高校です。地方の公立高校でありながら、これまで数多くのJリーガーを輩出している強豪校です。数年前、総監督である平岡先生の『凡事徹底』という本を読みましたが、これからの皆さんの学校生活や部活動の在り方に大変参考になることが多く載っています。

日常生活の掃除、片付け、あいさつ等、当たり前のことを人並以上にやり抜くことで、人間的にも成長させ、それを部活動にも還元させることができます。大津高校は、長時間の居残り練習を禁止し、1日の練習を100分に区切っています。朝練は各自が弱点や課題を克服するために、自主的に行っているようです。文武両道をモットーに、練習以外でも生活習慣は徹底されています。

黒工も大津高校同様、地方の公立高校です。少子化が進み、年々、生徒数は減少しています。また、“働き方改革”の大きな波が押し寄せ、これからの部活動の在り方を真剣に考えなければならない時期に差し掛かっています。

コロナ禍の影響があり、満足に大会が開催されていない中、このところの成績は、数年前に比べて下降傾向にあります。なんとかして、工夫しながら歯止めを掛ける必要があります。

それには、生徒一人ひとりが当たり前のことをしっかり行い、それを継続することが大事です。継続できず、集中力のない選手は、大切な試合で力を発揮することはできません。日々の授業、清掃活動、あいさつ。何でも構いませんから、コツコツ徹底してやりましょう。

○3年生の皆さんへ

2月2日(水)で高校最後の考査が終了し、翌日から自由登校期間に入ります。考査期間中に中断していた自動車学校への通学、あるいはアルバイト等を再開することになりますが、世の中がコロナ禍で大変な状況にあることを十分に理解し、よく考えてから行動しましょう。毎日必ず健康観察チェックを行い、発熱や体調が思わしくない場合は決して無理せず、外出を控えてください。

この期間をどう捉えるかが大切です。考査が終わって勉強する必要がなくなり、毎朝早く起きなければという心配もありません。だからと言って、不規則でだらしない生活は禁物です。これまでの生活を振り返り、反省と準備に充てる期間にしてみたいはいかがでしょうか。

今までは、保護者や先生方の管理の中で生活してきましたが、これからはそうはいきません。“自由”を得る代わりに、“自律”が求められます。成人として自らの意思で考え、誠実に物事を判断して行動することが求められます。

4月からは、今までとは違う環境の下で新しい生活をスタートすることになります。そういう意味で、自分を変える大きなチャンスです。だからこそ、今のうちにしっかり反省し準備しておく必要があるのです。楽しい人生を送るためにも、是非、しっかり考えましょう！



“いままで、誰にでもできる平凡なことを、誰にもできないくらい徹底して続けました。そのおかげで、平凡の中から生まれる、大きな非凡を知ることができました。”

by 鍵山 秀三郎(イエローハット創業者)